



今ある窓に“プラス”するだけ。  
窓が変わると、心地よさも変わる。

インプラス



【今ある窓】

1窓あたりの  
取付時間は約60分！※  
戸建て住宅にも  
マンションにも取付可能！

※取付時間は、現場により異なります。

今ある窓

屋外

室内

生まれる空気層

樹脂製内窓

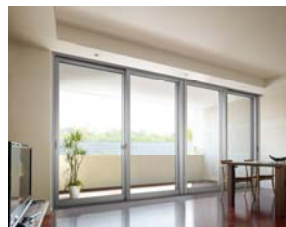
インプラスを取付けることで、今ある窓との間の空気層が断熱効果や防音効果をうみだします。

インプラスはアルミの約1/1000の熱伝導率の樹脂でできているため、高い断熱効果と防露効果を発揮します。

## バリエーション

### インプラス

対応窓種やカラーが豊富な、使い勝手に優れたシリーズ。様々な空間にお使いいただけます。



※1浴室仕様は引違い窓・開き窓のみの限定です。カラーはホワイトとプレシャスホワイトPの限定ですが、開き窓はプレシャスホワイトPのみの限定です。  
※2025年12月未販売終了予定。

品種



引違い窓※1



FIX窓



開き窓※1



テラスドア

カラーバリエーション



ショコラデーG



キャラメルウッドG



ニュートラルウッドG



ライトウッドG



ライトグレーG



ホワイト※2



プレシャスホワイトP

### インプラス for Renovation

優れたデザイン性で空間に調和するリノベーションシリーズ。現代のインテリアに馴染む「デザイン」でも選べる窓です。



品種



引違い窓

カラーバリエーション



プリウムメタルグレー



チーク



ライトオーク

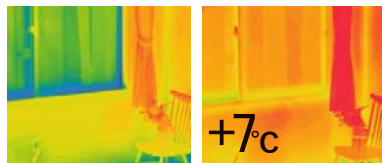


チェリー

### 断熱効果

既存の窓とインプラスの間にまれた「空気層」が断熱材に。

### サーモグラフィーで見る冬のリビング



取付け前

今ある窓のみ

(単板ガラス3mm)

5℃

取付け後

今ある窓+インプラス

(単板ガラス3mm+Low-E複層ガラス)

30℃

サーモグラフィー撮影条件：室外温度0℃、室内温度20℃

### 結露軽減

断熱性の高い窓で結露の発生を抑え、いつも快適に。



取付け前

今ある窓のみ

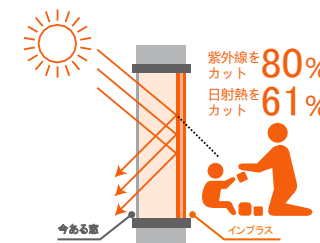
取付け後

今ある窓+インプラス

※建物の構造、お住まいの諸条件により得られる効果に違いがあります。

### UVカット

「Low-E複層ガラス」で紫外線をカットしお肌や家具を守る。



※Low-E複層ガラス グリーン(高遮熱仕様)3-A12-3の性能値

### 侵入抑止効果

二重の窓で侵入を抑制し安全性を高める。

### 泥棒の侵入

約54%が窓

その他

出入口

窓

令和2年警察庁調べ

### 貫通しにくい安全合わせガラス

「こじ破り」「打ち破り」に効果的

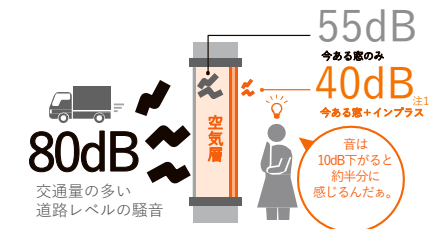
破壊試験状況(ショットバグ試験)

画像提供 AGC株式会社

インプラスを取付けることで、2ロックとなります。さらに、防犯合わせガラスは耐貫通性に優れ、「こじ破り」や「打ち破り」対策にも有効です。

### 遮音効果

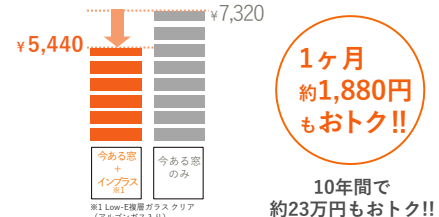
空気層が防音壁となり、気になる音を半減。



音の種類によって得られる効果が異なります。  
(注1) 遮音性能は、JISで定められた方法により実験室で測定した測定値です。実際の建築物の現場で測定したとき、実験とは音場が異なるので、それぞれの測定値に差異が生じます。(※音場：音波が伝わっている空間の状況を示す。)

### 経済性

断熱性能アップで  
段々冷房費ダウンへ。



算出条件/シミュレーション地区：東京  
●冷房計算プログラム「AE-SimHeat」(株)建築環境ソリューションズを用いて算出した年間冷房費を、(平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法および解説 II 住宅) (一財)建築環境・省エネルギー機構)に基づきエネルギー消費量、冷房費金額に換算。●住宅モデル：2階建て/延べ床面積120.08㎡/開口部面積：32.2㎡(平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法および解説 II 住宅) 標準仕様のプラン ●想定家族：4人家族 ●想定冷房機器：エアコン、暖房：20℃/冷房：27℃・60% ●運転方法：間断運転 ●計算地域：北海道メダス気象データ2000年版(標準年) ●住宅断熱仕様：昭和55年省エネルギー基準適合レベル ●開口部仕様：居室の9割にインプラスを設置 ●遮断材：居室の8割にレースカーテン、和室にインプラスを併用 ●ガラスの性能値は、JIS R3106、R3107に基づき求めた値を使用しております。●電気料金単価：31円/kWh(税込) ※1年間のシミュレーションを12か月で割った平均値 ※家庭電気の大きな割合を占める、暖房費、生活家電、生活パターン、地域によって数値は異なります。目安としてご利用ください。